



証券コード：3997

株式会社トレードワークス

# 2020年12月期 決算説明資料

2021年2月12日



1. 2020年12月期 概況
2. 事業環境認識、継続的な取り組み
3. 2021年12月期 業績予想
4. 参考資料



# 1. 2020年12月期 概況

# ● 2020年12月期 業績サマリー



売上高

**2,110**百万円

(前期比6.1%増)

営業利益

**107**百万円

(前期比▲17百万円)

当期純利益

**73**百万円

(前期比▲16百万円)

- ✓ 成長戦略、重点施策の遂行は、确实進捗。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、開発プロジェクトのスピード鈍化、新規案件の受託遅れが生じ、期初の数値計画未達。
- ✓ 当社がノウハウを持つ部分において、金融周辺以外の新規ビジネスに着手し、初年度より業績に寄与。
- ✓ 利用型、ストック型へのビジネスモデル改革も進展
- ✓ 課題であったプロジェクトごとの収益性、人材獲得及び自社開発力強化は、順調に推移。

# ● 2020年12月期 業績ハイライト



新型コロナウイルスの影響で案件の中断・リリースの遅延により、売上高は前期比6.1%に留まり、利益面では減益となりました。

(単位：百万円)

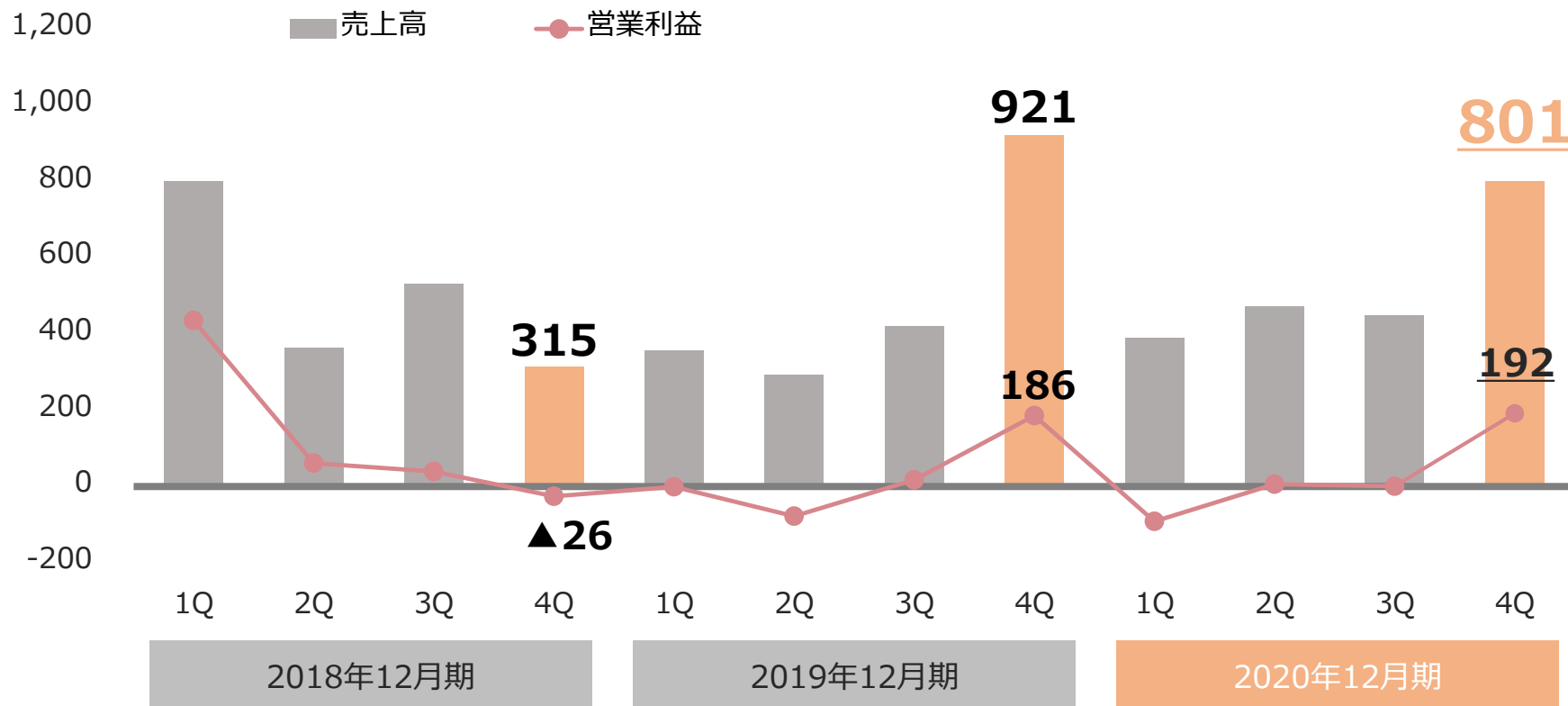
項目		2019.12期		2020.12期		増減額	前期比
売上高		1,989		2,110		121	106.1%
原価	原価率	1,473	74.1%	1,603	76.0%	130	108.8%
売上総利益		516		507		▲8	98.3%
販管費	販管費率	391	19.7%	399	18.9%	8	102.1%
営業利益	利益率	124	6.3%	107	5.1%	▲17	86.1%
経常利益	利益率	125	6.3%	107	5.1%	▲17	85.8%
当期純利益	利益率	89	4.5%	73	3.5%	▲16	82.0%



# 売上高・営業利益（四半期推移）

コロナの影響により開発プロジェクトが来期にスライドしたため、第4Qの売上は前年同期を下回るものの、営業利益は微増となりました。

(単位：百万円)





## 金融・金融周辺領域の拡大、 新たな領域へのチャレンジは着実に進展

技術と金融知識を  
持ち合わせた  
専門性の高い集団



金融知識

技術



### 金融・金融周辺領域

- ソフトウェアの信頼性、魅力の向上
- 他ベンダーとの連携促進
- 国際的ブランドの確立
- 仮想通貨、年金、保険など
- 新たな業種への事業拡大
- スtockビジネスなど
- 新たなビジネスモデルへの転換

ビジネスモデル  
改革の転換  
着実に進展



### 新たな領域

- 新ビジネスへのチャレンジ

新ビジネス  
スタート



# 2020年12月期 重点施策の進捗

## ◆プロジェクト管理を徹底

新型コロナ禍において、テレワークを含む  
ニューノーマルに対応した働き方改革を実行



・収益性改善に向けた取り組みは、着実に進捗したものの、納期ずれの影響により、利益率向上に至らず。

## ◆既存顧客への営業活動強化

対面営業が難しい反面、オンラインミーティングを  
活発にできる既存の金融関連企業に積極的な  
営業活動を展開



・開発提案数、検討数は増加したものの、お客様側の検討時間が長引くなど、新型コロナの影響を受ける。

## ◆人材の育成

大型プロジェクトにも対応できる  
人材の育成に注力



・人材獲得方法を変更し、エンジニア獲得は良好に推移。自社開発力UPに向け、教育、育成もしっかりと実行

## ◆データセンター増強など戦略的投資を継続

ストック型ビジネスモデルへの転換を進める



・先行投資部分は一巡し、適切なコストにモデル転換を勧められる状況まで、進めることができた。

## ◆新サービスへの取り組み

新型コロナ禍においても着実に進行



・当社が有するシステム開発ノウハウのうち新たなビジネスに活用できるものを見出しスタートを開始。

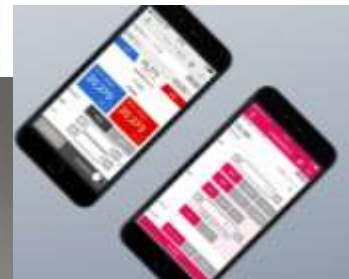


# トピックス



## エイチ・エス証券株式会社様向け 「インターネット取引サービス」 システム基盤リニューアル

AWS（アマゾン・ウェブ・サービス）をベースに、従来より採用いただいている当社パッケージ「TradeAgent」のシステム構成や一部アーキテクチャを刷新し、性能向上、拡張性強化を行いました。AWSを採用したことによりシステム拡張・運用を低コストで行える新構造を実現いたしました。



## 藍澤証券株式会社様向け 「グローバル投資情報サービス」の提供

国内市場情報だけでなく、外国株式情報や為替、経済指標など幅広い情報を提供している「グローバル投資情報サービス」を、藍澤証券さまのサービス「ブルートレード」および「アイザワオンライン」向けに提供することになりました。当社インターネット取引パッケージ「TradeAgent」の情報系機能を藍澤証券さま向けにカスタマイズしASPサービスとして提供いたします。



# ● 貸借対照表



(単位：百万円)

	2019.12期	2020.12期	増減額
<b>流動資産</b>	1,162	<b>1,241</b>	78
現金及び預金	422	835	413
売掛金	688	334	▲353
<b>固定資産</b>	585	<b>566</b>	▲19
有形固定資産	104	92	▲12
無形固定資産	288	282	▲6
投資その他の資産	192	191	▲0
<b>資産合計</b>	1,748	<b>1807</b>	59

	2019.12期	2020.12期	増減額
<b>流動負債</b>	218	<b>206</b>	▲11
買掛金	99	81	▲17
未払法人税	38	27	▲10
<b>固定負債</b>	63	<b>71</b>	8
<b>純資産合計</b>	1,466	<b>1,530</b>	64
<b>負債・純資産合計</b>	1,748	<b>1,807</b>	59



## 2. 事業環境認識・継続的な取り組み



新型コロナウイルス感染症拡大の中  
市場資金等の流入により、  
金融取引市場は活況



フィンテックによる  
金融業界新規参入業者の増加



5G通信の商用サービス  
国内4キャリアでスタート



金融システムのセキュリティに  
関する事案の増加



証券会社システム強化への  
機運の兆し

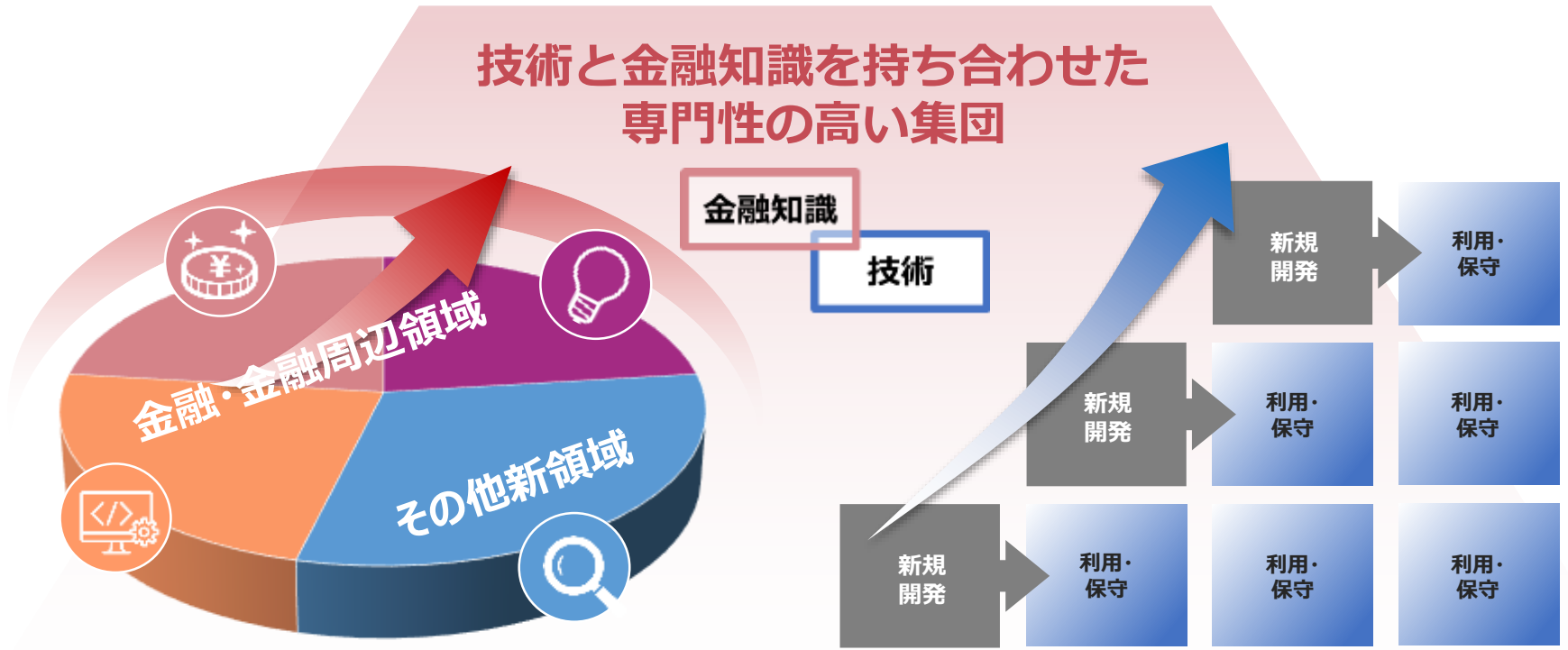


当社の主軸である  
**金融・証券業界の  
IT投資意欲は、  
コロナ禍においても  
旺盛**



## 持続的な成長を目指し、2つの戦略を実施

技術と金融知識を持ち合わせた  
専門性の高い集団



主軸領域の深耕と新領域への進出

### 事業領域拡大



利用型・ストック型ビジネスモデル比率のUP

### ビジネスモデル転換

## 2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大



## 主な取り組み

### 成長戦略の更なる推進

- ✓ ビジネスモデル転換の推進を強化
- ✓ データセンターなど戦略投資の継続
- ✓ 主軸事業の深耕、領域の拡大
- ✓ 新領域への進出、事業確立
- ✓ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ✓ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出

### 収益性UPへの取り組みを強化

- ✓ プロジェクトマネジメント力の更なる強化
- ✓ 金融知識を有するエンジニア、自社開発力を強化
- ✓ 人材獲得、金融知識・技術教育の充実、強化
- ✓ 顧客資産、技術情報連携体制の強化、確立



# 2021年12月期 業績予想



前期スライド案件があるものの18%の増収、  
利益は約2倍増を計画。

(単位：百万円)

項目	2019.12期	2020.12期	2021.12期 (予)	増減額	前期比
売上高	1,989	2,110	2,500	390	118.4%
営業利益	124	107	230	123	214.4%
経常利益	125	107	230	123	213.0%
当期純利益	89	73	160	87	218.2%





**経営基盤の強化を最優先し、  
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、  
利益配分を実施**

**5円増配の1株当たり10円を予定**

項目	2019.12期	2020.12期	2021.12期 (予)
配当金 (1株)	5円	5円	10円



# 參考資料



## 技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術



金融知識

- 最新テクノロジー
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識



- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



## ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



**技術者育成 + 環境整備**  
**全社横断 品質・生産性向上**



当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105  
神保町三井ビルディング9F  
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612  
<https://www.tworks.co.jp/>